

輝け！シン尾花沢中

第27号

令和7年

5月20日

心ゆたかに たくましく 理想をうたう わが学園

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

言葉で創るふれあいの輪、あいさつで地域を元気に！

今年度、私が校長として掲げた目指す生徒像のうち「活力」の姿は次の通りです。

活力

夢や志を持ち、他人の役に立つことに喜びを感じる尾中生

重点⑥総合的な学習の時間「おばね学」を通した生き方・働き方につながる地域貢献の推進

また、生徒会総会で決定した目指す生徒像のうち「誠実」と「活力」の姿は次の通りです。

誠実

元気なあいさつと
笑顔あふれる尾中生

活力

何事も全力で
爽やかな尾中生

たくさんある尾中生の良さの一つに「笑顔あふれる元気なあいさつ」があります。

右の写真は、4月に生活委員会であいさつ運動をしている様子です。また、その下の写真は「爽やかあいさつ運動」で地域の方からあいさつを受けている様子です。

「あいさつ輝き隊」も組織されており、3年生の多くが隊員となって活躍しています。①目を見て②尾中③笑顔の要素を取り入れたバッジのデザイン募集も行われました。

このように、尾花沢中にとってあいさつは、十分に誇れるものです。

では、現状維持でいいのでしょうか。実は、「地域で、大人も子供も、もっとあいさつしてはどうか」という声が地域の方からありました。

ここで、冒頭の「誠実」や「活力」に関する目指す生徒像を思い起こしてみましょう。

私たち尾中生は「笑顔あふれる元気なあいさつ」で、地域を元気にし、活力を生み出すことができます。私は、①目を見て③笑顔の他に、④相手よりも先に、も加えてほしいと思っています。

左の画像は、5月1日（木）の地区長距離記録会に向かう選手に対して、教室から応援する生徒の様子です。とても素敵な光景ですね。言葉は人と人をつなぎ、そのパイプを太くします。そして、活力も生み出します。

あいさつで地域を元気に！尾中生に期待しています。

【文責：校長 工藤雅史】

